

第3回 府立北摂つばさ高等学校 学校運営協議会 会議録

日 程:令和7年2月7日(金)15時 40 分～17 時

場 所:本校校長室

委員出席者(五十音順、敬称略)

今堀洋子委員、長田佳久委員、坂口一美委員、田中宏和委員、中島麻衣委員、中山優斗委員

事務局出席者

田中(校長)、深田(教頭)、高本(事務長)、佐藤(首席)、美濃(首席)

<協議事項>○委員 ●事務局

1, (1)各分掌・学年の今年度の総括について

○生徒数減少という現実的な問題があり、減少傾向はこの数年間にわたり深刻になっている。

○学校側は現状を真摯に受け止め、中退防止の対策を講じているものの、具体的な解決に至ってはいない。

●地元 5 中学校との連絡会では進路情報と生徒指導情報の共有や、本校の社会貢献活動に関する情報共有を行っている。また、就職支援に関しても充実していることを中学校訪問で説明している。学校全体をとおして、生徒の自己肯定感を高く指導や支援を行っている。

○ICT 機器やオンライン学習ツールで行う授業が定着してきている。

○生徒数減少に伴い、部員が減っている部活もあるが、所属している生徒は一生懸命活動している。特にダンスは地域貢献の一環として、お祭りなどにも積極的に参加してもらっている。部活動をとおして、生徒の成長が見られる。

(2)令和6年度の学校評価(案)について

○本評価案の中で一番の核は何か。

●特に力を入れていきたいのは、図書室の活用について。図書の貸し出しを増やすことも重要だが、図書室を利用する生徒や、図書室を活用した授業を行っていることが重要。

○小中学校では学校図書館のモデル事業があり、教員配置や図書室の活用が盛んにおこなわれている。国語力向上のため図書館資料を活用した授業実践や、調べ学習に多く利用する機会がある。特に本を購入することのできない生徒でも、書籍に触れる機会を多く作ることができる。タブレット端末の活用と並行して、インターネットと書籍の情報比較の検討などが重要である。

●図書室のスペース拡大や蔵書のリニューアルを行い、利用はしやすくなっている。一部飲食加納スペースも作り、友達同士の利用促進を図っている。4階に図書室があるため、なかなか利用者が増えないが、既存の利用者はよく活用している印象がある。

○本を紹介するビブリオバトルなど、ゲーム感覚で取り組み、生徒の興味関心を高める工夫や、畑や調理室を活用した多様な授業展開を期待している。

(3)令和7年度の中期的目標(案)について

- 生徒の定着率の向上と中退率減少を目標とする。
- 中学校では、1年ごとの中退率よりも3年間での卒業率を重視している。卒業率の維持向上は地域の中学校にとっても安心材料となり、学校の魅力の一つになる。

(4)学校教育自己診断アンケート

- 国際交流プログラムについて、府の補助を使いながら次年度より行っていきたい。
- 姉妹校にとっては、北摂つばさ高校との交流のメリットは大きいですが、北摂つばさ高校の生徒にとってのメリットはあまりないかもしれない。学校全体として、少しでもいいから英語に触れる機会の創出や英語学習に関する意欲を高めたほうがよい。
- 授業内容に関するアンケートでは生徒自身が肯定的に捉えてポイントが上がっているが、保護者の評価は低い傾向にある。家庭学習の取り組みについてはICT機器を取り入れている影響もあり、前年比よりも向上している。
- 社会貢献活動を学校側はしているのにも関わらず、学校の特徴を知っているかという問いに関する数値が低い。インスタやXを利用していくことも要検討。いじめや暴力のない学校づくりに関して保護者の不安や懸念事項への対策を充実してほしい。

〈その他、校長が必要と認める事項について〉

特になし

〈授業その他の教育活動に係る保護者からの調査審議に関する事項〉

特になし

〈閉会〉

- 多くのご意見を賜り、会が活発におこなえたことに感謝いたします。2月に卒業式、4月に入学式を開催いたします。よろしくお願いいたします。令和7年度の委員任命については改めて連絡いたします。